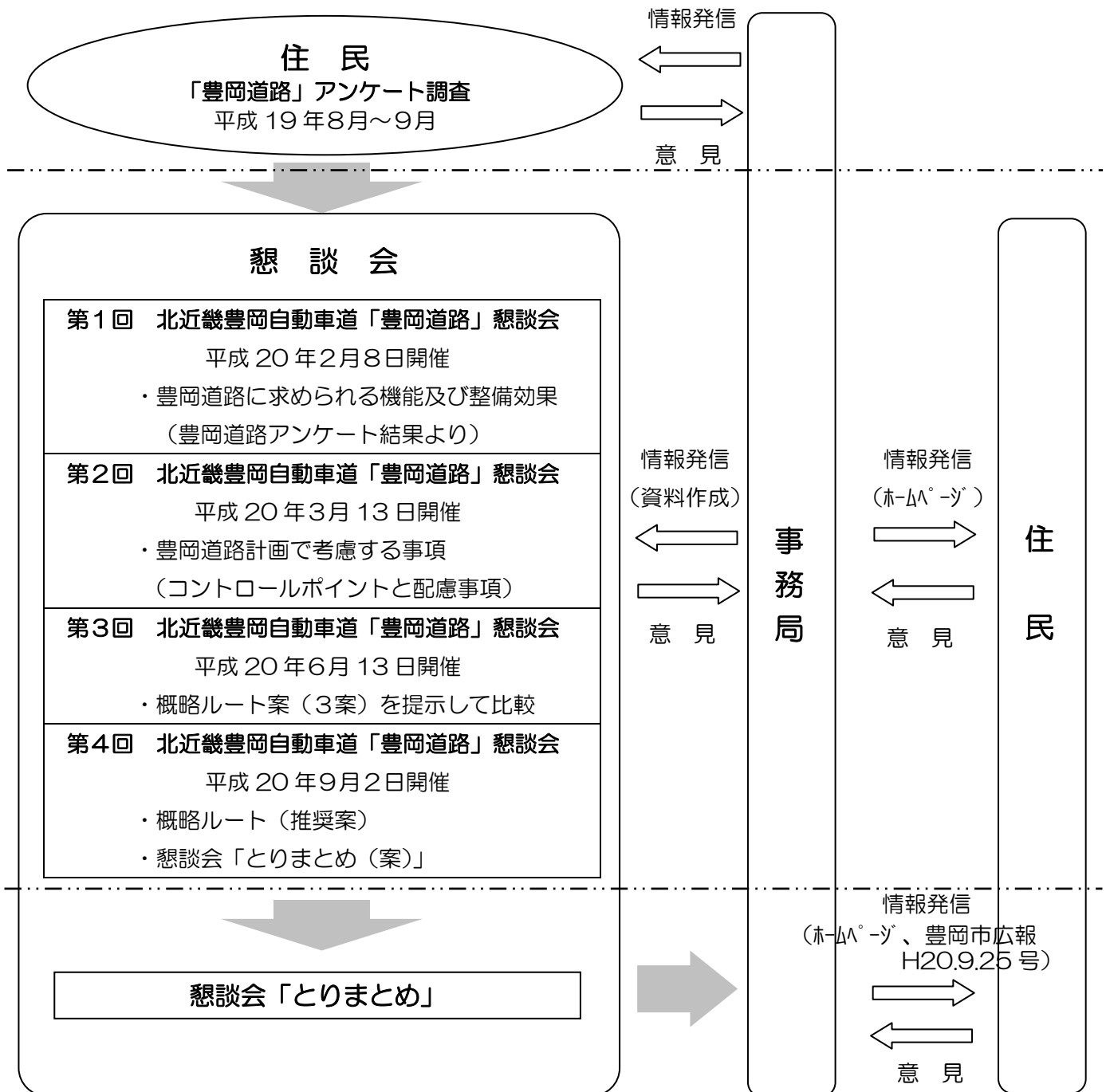


第1編 とりまとめ 概要編

目 次

1. 「豊岡道路」の市民参画型道路計画の流れ 概要編-1
 2. アンケート調査結果 概要編-2
 3. 豊岡道路懇談会での議論の概要 概要編-4
 4. 配慮事項 概要編-8
-

1. 「豊岡道路」の市民参画型道路計画の流れ



2. アンケート調査結果

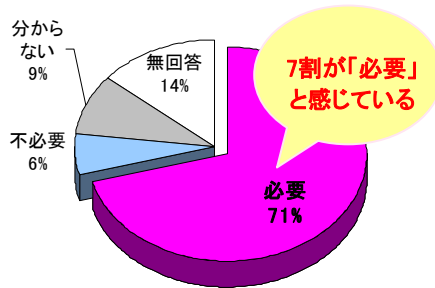
(1) 回収率

配布数	回収数	回収率
34,286	11,862	34.6%

(平成19年8月下旬～9月下旬, 豊岡市内の全世帯及び商工会議所・商工会の全会員に配布)

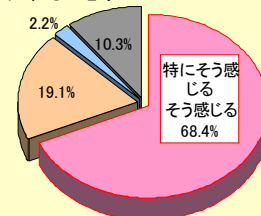
(2) 豊岡道路に求められる機能及び整備効果

①設問 豊岡道路が必要と思うか。

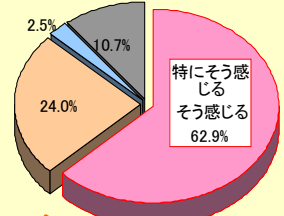


「豊岡道路」の整備で期待される効果 アンケート結果

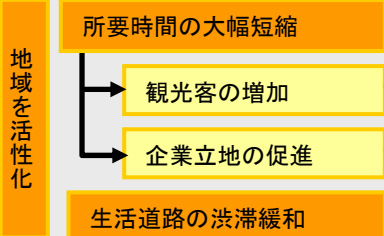
観光客が増え、地域が活性化すると思う



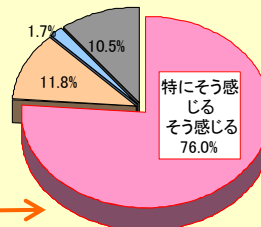
産業の競争力が増し、地域が活性化すると思う



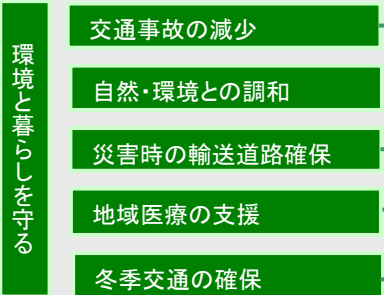
②求められる機能及び整備効果



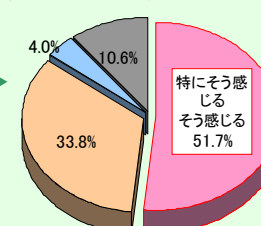
観光シーズンなど休日の交通渋滞が緩和すると思う



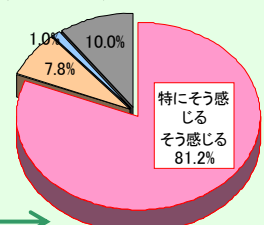
豊岡道路整備による地域活性化と渋滞緩和に多くの方が期待を寄せている



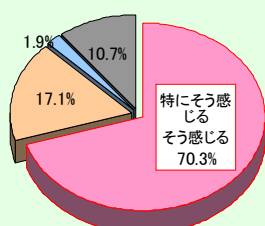
豊岡の市街地の道路で交通事故が減ると思う



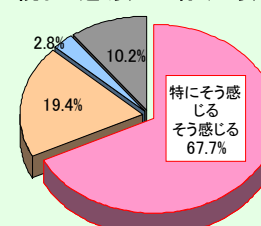
災害時緊急輸送道路として利用できて安心



降雪時でも、国道312号等より安全に車が走行できる



第3次救急医療施設の豊岡病院まで速く安全に行けて安心



環境と暮らしをまもるための道路整備に期待が高い

(凡例)

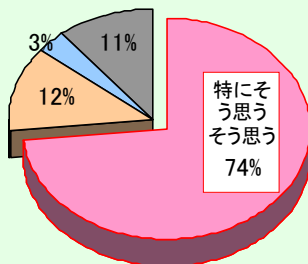
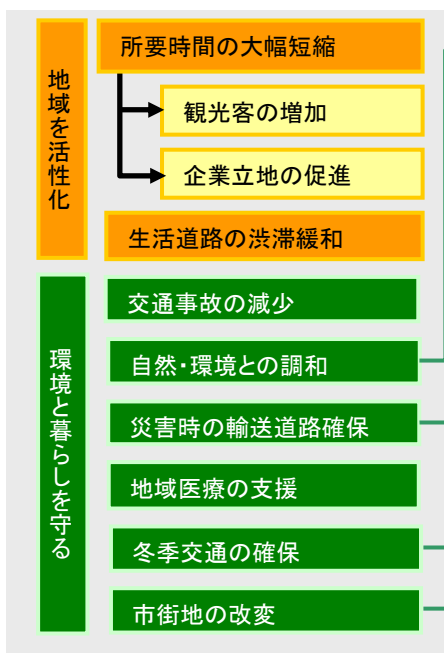
- 特にそう感じる
- そう感じる
- あまり感じない
- 全く感じない
- 無回答

③豊岡道路を整備する際にどのようなことに配慮すべきか

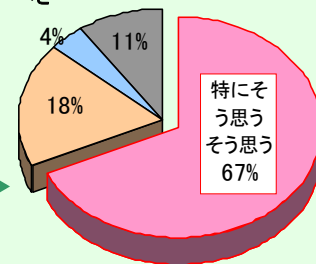
「豊岡道路」を整備する際に、
どのようなことに配慮すべきか

豊岡市街地の西側にルートがくる
ことは概ね妥当

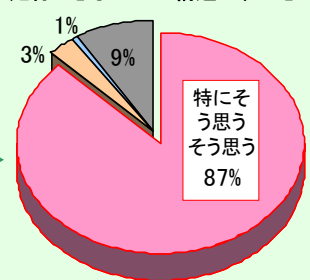
アンケート結果



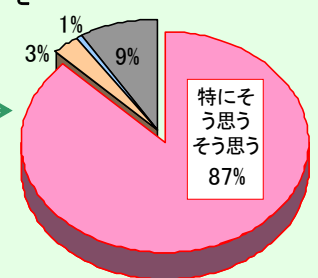
コウノトリやタカなど貴重な動植物と共存できるルート・構造にすべき



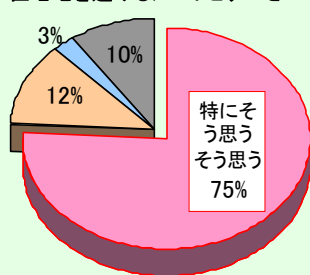
災害時でも緊急輸送道路として走行できるルート・構造にすべき



除雪した雪を道路の端に置き、冬場でも走行しやすい道幅にすべき



住宅地を避けるルートとすべき



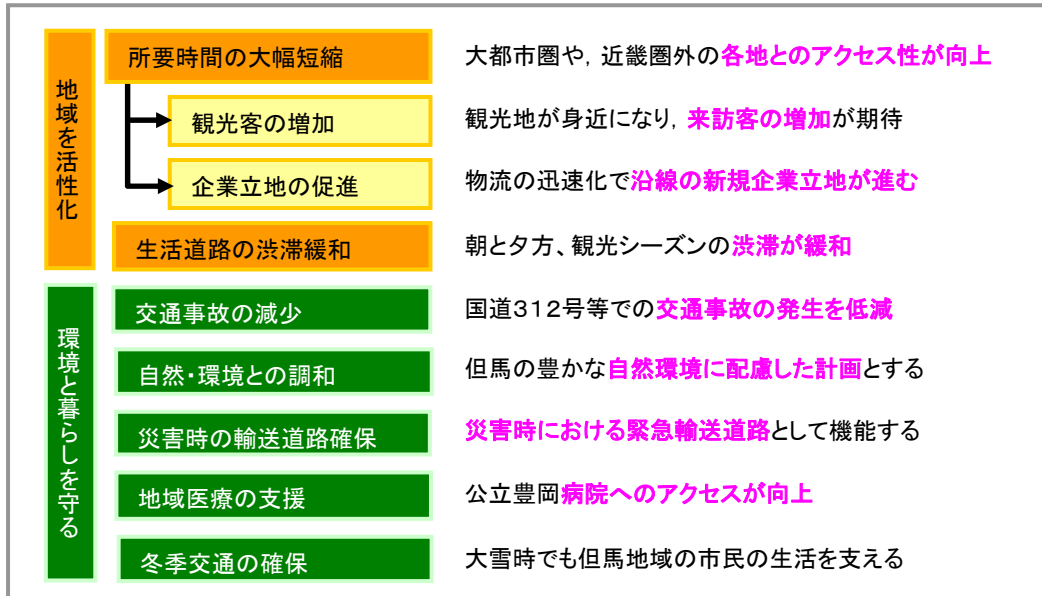
(凡例)

- 特にそう感じる
- あまり感じない
- 全く感じない
- 無回答

市民の暮らしや動植物との共存など環境を守ることに配慮した道路整備が求められている

3. 豊岡道路懇談会での議論の概要

(1) 豊岡道路に求められる機能及び整備効果

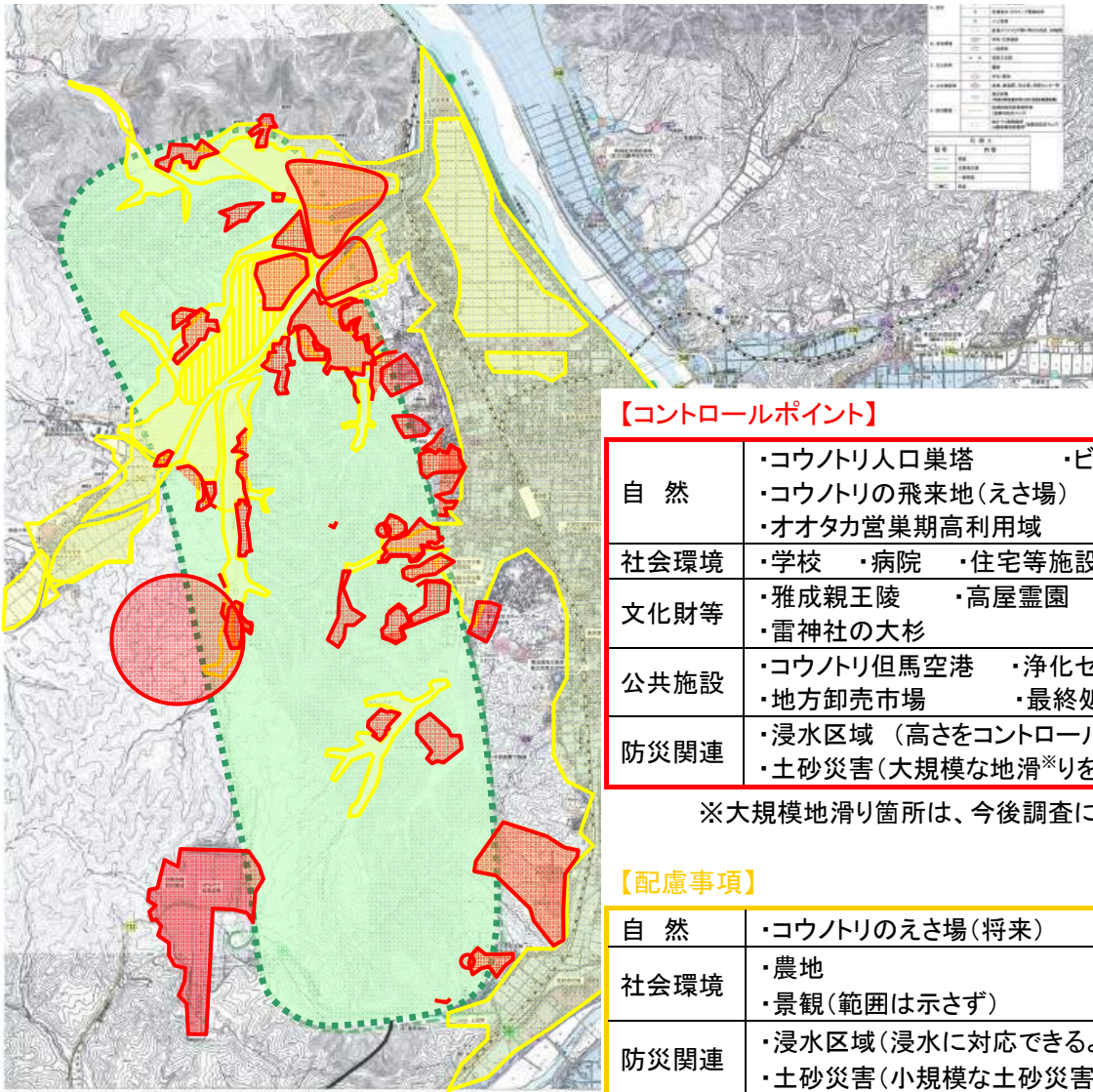


(2) 「豊岡道路」懇談会での主な意見の概要

主な意見	対 応
<ul style="list-style-type: none"> ・時間短縮による地域活性化のため高規格幹線道路（高速道路）としての豊岡道路の整備が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・時間短縮効果の大きい高規格幹線道路（高速道路）として豊岡道路を整備する
<ul style="list-style-type: none"> ・地域活性化のため早期整備が重要 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活性化のため、早期供用が図れる様に努力して計画を進める
<ul style="list-style-type: none"> ・但馬地域の課題に対して、既存一般道路改良と豊岡道路（高速道路）整備の効果の比較検討が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・比較検討の結果、求められる機能と役割に対応する豊岡道路（高速道路）整備が適切と判断した
<ul style="list-style-type: none"> ・インターチェンジの必要性について議論する 	<ul style="list-style-type: none"> ・豊岡病院と市街地からアクセスのよい位置に1箇所中間インターチェンジを設置する
<ul style="list-style-type: none"> ・福田・栃江の水田はコウノトリのえさ場となっている ・コウノトリなど豊岡の自然財産を見に来てもらう道路としたい 	<ul style="list-style-type: none"> ・コウノトリに対する配慮を行いながら地域活性化に資する道路を整備する
<ul style="list-style-type: none"> ・コウノトリと車の衝突を防ぐ配慮が必要 ・道路の内部景観（ドライバーの視点）への配慮が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・コウノトリと車の衝突を防ぐ配慮（案）を提示
<ul style="list-style-type: none"> ・自然環境への配慮に関して、懇談会と環境アセスメントの位置付けが不明確 	<ul style="list-style-type: none"> ・豊岡道路の事業の流れを説明し、今後実施する環境影響評価（環境アセスメント）実施時に動植物の調査などの詳細な環境現地調査を実施する
<ul style="list-style-type: none"> ・生物多様性の保全と創造など、環境全体に配慮した道路づくりを積極的に 	<ul style="list-style-type: none"> ・豊岡においての、生物の生息環境の連続性を確保する取り組みに配慮した計画とし、水田通過部においては、生物の生息環境の連続性に配慮する
<ul style="list-style-type: none"> ・農業従事者への配慮が必要で、近年食料自給率の確保が重要視され水田や畑を壊さない道路計画にすべき 	<ul style="list-style-type: none"> ・コウノトリ育む農法などの地域の農業に対する取り組みに配慮し、優良農地の通過延長を短くする
<ul style="list-style-type: none"> ・懇談会の時点から景観に配慮し検討する必要がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・概略ルート（案）レベルでのイメージスケッチを作成して検討
<ul style="list-style-type: none"> ・豊岡道路のコントロールポイント及び配慮事項より、概略ルート（案）の検討可能な範囲を確認する必要がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・豊岡道路のコントロールポイントを整理して、概略ルート（案）の検討可能な範囲を確認
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の利便性（トイレ等の休憩施設の設置や管理）について、ネットワーク（国・県・市など）として一体的に運営すべき ・今後増加する外国人観光客への対応（道路標識の英文標記等）についても、同様に取り組むべき 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の利便性の視点に立ち、県や市などの関係機関と連携した休憩施設の運営、案内標識の設置などに努める
<ul style="list-style-type: none"> ・冬季の安全な交通確保について、ネットワーク（国・県・市など）として、一体的に運用すべき 	<ul style="list-style-type: none"> ・北近畿豊岡自動車道の他区間での実績を踏まえ、道路構造、融雪設備、管理体制などに配慮し、関係機関と連携しながら、冬季の安全な交通確保に努める
<ul style="list-style-type: none"> ・配慮事項の「自然環境との調和」の中に、「環境への負荷軽減」の項目を追加すべき 	<ul style="list-style-type: none"> ・「自然環境との調和」の中に、「環境への負荷軽減」の項目を追加する
<ul style="list-style-type: none"> ・「自然環境の連続性を保全できる環境整備」、「地形、集落等の景観への配慮」を懇談会意見として取り込み、今後の環境影響評価等の段階へ確実に引き継ぐ必要がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・配慮事項の中に反映させる ・今後の環境影響評価実施時に、動植物の調査を行い、確実に引き継ぐ

(3) 概略ルート（推奨案）の決定経緯

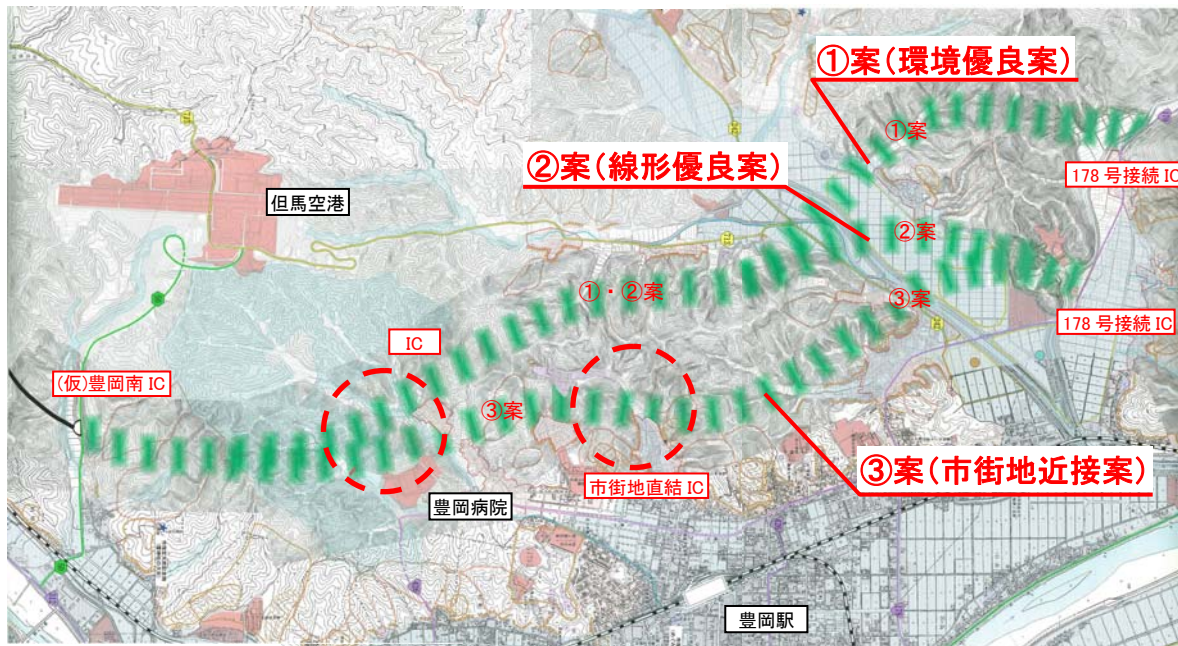
①コントロールポイントと配慮事項



②概略ルート（案）の範囲の考え方

コントロールポイント及び配慮事項をふまえ、ルートの範囲を絞り込む

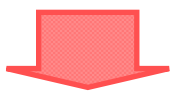
③概略ルート案（3案）



④概略ルート（推奨案）

3つの概略ルート（案）の比較を行った結果、[①案（環境優良案）]が、環境との調和などにおいて他の案に比べ優れており、コウノトリのえさ場及び農地への影響が少なく、地形改変量が少なく、景観に優れ、軟弱地盤通過延長が短い。

※地域を活性化する道路の機能や役割と費用については、3案ともほとんど差がない。



[①案（環境優良案）]を概略ルート（推奨案）とする。

4. 配慮事項

(1) 豊岡道路計画における配慮事項

地域を活性化させ、環境と暮らしを守ることに配慮した計画		
地域を活性化	所要時間の大幅短縮	<ul style="list-style-type: none"> ・時間短縮効果の大きい高規格幹線道路として整備する ・近畿自動車道敦賀線、播但連絡道路と連携し、将来、鳥取豊岡宮津自動車道が計画されれば接続し、高速道路ネットワーク全体の機能向上と、京阪神との時間短縮により、但馬地域を活性化させる道路とする ・地域活性化のため、早期供用が図れる様に努力して計画を進める
	観光客の増加	<ul style="list-style-type: none"> ・但馬の自然環境を活かした観光資源へのアクセス向上、広域的な観光周遊の円滑化により、観光活性化を支援する道路とする
	企業立地の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・産業・物流拠点や市中心部とのアクセス向上が図られる計画とする
	生活道路の渋滞緩和	<ul style="list-style-type: none"> ・市街地西側の山地部を通過させて市街地の通過交通を排除し、市街地からアクセスしやすい位置にインターチェンジを計画して、市街地から各方面への交通を豊岡道路に分担させ、既存一般道路の渋滞を緩和するとともに、交通事故を削減する
環境と暮らしを守る	交通事故の減少	<ul style="list-style-type: none"> ・道路の機能と利便性や経済性と、環境や景観とのバランスを考慮したルート・構造とする ・自然環境の豊かな地域の道路であり、地形改変ができるだけ少ないルート・構造とする ・環境影響評価実施時に、動植物の調査を十分行って適切な対応を図る
	自然・環境との調和	<ul style="list-style-type: none"> ・生態系の頂点にあるコウノトリやオオタカでも暮らせるような生物多様性のある生態系ネットワークに配慮した計画とし、動植物との共生が図れるように、生息・生育地の分断をできるだけ避けて計画する
	生物多様性の保全	<ul style="list-style-type: none"> ・コウノトリの利用頻度の高い餌場（福田・栃江の水田）はできるだけ大きなまとまりで残すルートにするとともに、コウノトリなどと車の衝突を防ぐ配慮を行う ・オオタカの営巣期高利用域は避けて計画する
	貴重野生生物との共生	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅地等の生活環境への影響をできるだけ及ぼさないようなルート・構造とする
	生活環境の保全	<ul style="list-style-type: none"> ・道路の建設や管理にともなう環境負荷を軽減する配慮を行う
	環境負荷軽減	<ul style="list-style-type: none"> ・但馬の景観と調和しながら、魅力的な景観を創出するルート・構造とする
	景観との調和	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時においても寸断しにくい道路とし、緊急輸送道路の確保及び但馬空港にある広域防災拠点との連絡を確保して、災害時の市民の命を守り、災害時の生活圏の孤立を防ぐ道路とする ・大雨でも浸水しない高さで計画するとともに、軟弱地盤の通過延長が短いルートとする
	災害時の輸送道路確保	<ul style="list-style-type: none"> ・但馬地域唯一の第3次救急医療施設である豊岡病院付近にインターチェンジを計画する
	地域医療の支援	<ul style="list-style-type: none"> ・冬季の快適な交通サービスを支えられる様に、積雪時の交通確保に配慮した計画とする ・融雪対策を行う際には、環境への負荷軽減に配慮する
	冬季交通の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の社会活動及び生活環境への影響に配慮し、公共施設や住宅等を可能な限り避けたルート・構造とする ・優良農地の通過延長をできるだけ短くするルートとする ・地域の墓地や文化財等に配慮した計画とする
市街地の改変など		

(2) 「豊岡道路」概略ルート(推奨案)での配慮事項

豊岡道路計画における配慮事項 地域を活性化させ、環境と暮らしを守ることに配慮した計画

【地域を活性化】

<所要時間の大幅短縮>

○時間短縮効果の大きい高規格幹線道路として整備する
○近畿自動車道敦賀線、播但連絡道路と連携し、将来、鳥取豊岡宮津自動車道が計画されれば接続し、高速道路ネットワーク全体の機能向上と、京阪神との時間短縮により、但馬地域を活性化させる道路とする

○地域活性化のため、早期供用が図れる様に努力して計画を進める

観光客の増加

○但馬の自然環境を活かした観光資源へのアクセス向上、広域的な観光周遊の円滑化により、観光活性化を支援する道路とする

企業立地の促進

○産業・物流拠点や市中心部とのアクセス向上が図られる計画とする

<生活道路の渋滞緩和>

○市街地西側の山地部を通過させて市街地の通過交通を排除し、市街地からアクセスしやすい位置にインターチェンジを計画して、市街地から各方面への交通を豊岡道路に分担させ、既存一般道路の渋滞を緩和する

【環境と暮らしを守る】

<自然・環境との調和>

○道路の機能と利便性や経済性と、環境や景観とのバランスを考慮したルート・構造とする
○自然環境の豊かな地域の道路であり、地形改変ができるだけ少ないルート・構造とする
○環境影響評価実施時に、動植物の調査を十分行って適切な対応を図る

生物多様性の保全

○生態系の頂点にあるコウノトリやオオタカでも暮らせるような生物多様性のある生態系ネットワークに配慮した計画とし、動植物との共生が図れるように、生息・生育地の分断をできるだけ避けて計画する

貴重野生生物との共生

○コウノトリの利用頻度の高い餌場(福田・柘江の水田)はできるだけ大きなまとまりで残すルートにするとともに、コウノトリなどと車の衝突を防ぐ配慮を行う
○オオタカの営巣期高利用域は避けて計画する

生活環境の保全

○住宅地等の生活環境への影響をできるだけ及ぼさないようなルート・構造とする

環境負荷軽減

○道路の建設や管理にともなう環境負荷を軽減する配慮を行う

景観との調和

○但馬の景観と調和しながら、魅力的な景観を創出するルート・構造とする

<交通事故の減少>

○市街地西側の山地部を通過させて市街地の通過交通を排除し、市街地からアクセスしやすい位置にインターチェンジを計画して、市街地から各方面への交通を豊岡道路に分担させ、既存一般道路の交通事故を削減する

<災害時の輸送道路確保>

○災害時においても寸断しにくい道路とし、緊急輸送道路の確保及び但馬空港にある広域防災拠点との連絡を確保して、災害時の市民の命を守り、災害時の生活圏の孤立を防ぐ道路とする
○大雨でも浸水しない高さで計画するとともに、軟弱地盤の通過延長が短いルートとする

<地域医療の支援>

○但馬地域唯一の第3次救急医療施設である豊岡病院付近にインターチェンジを計画する

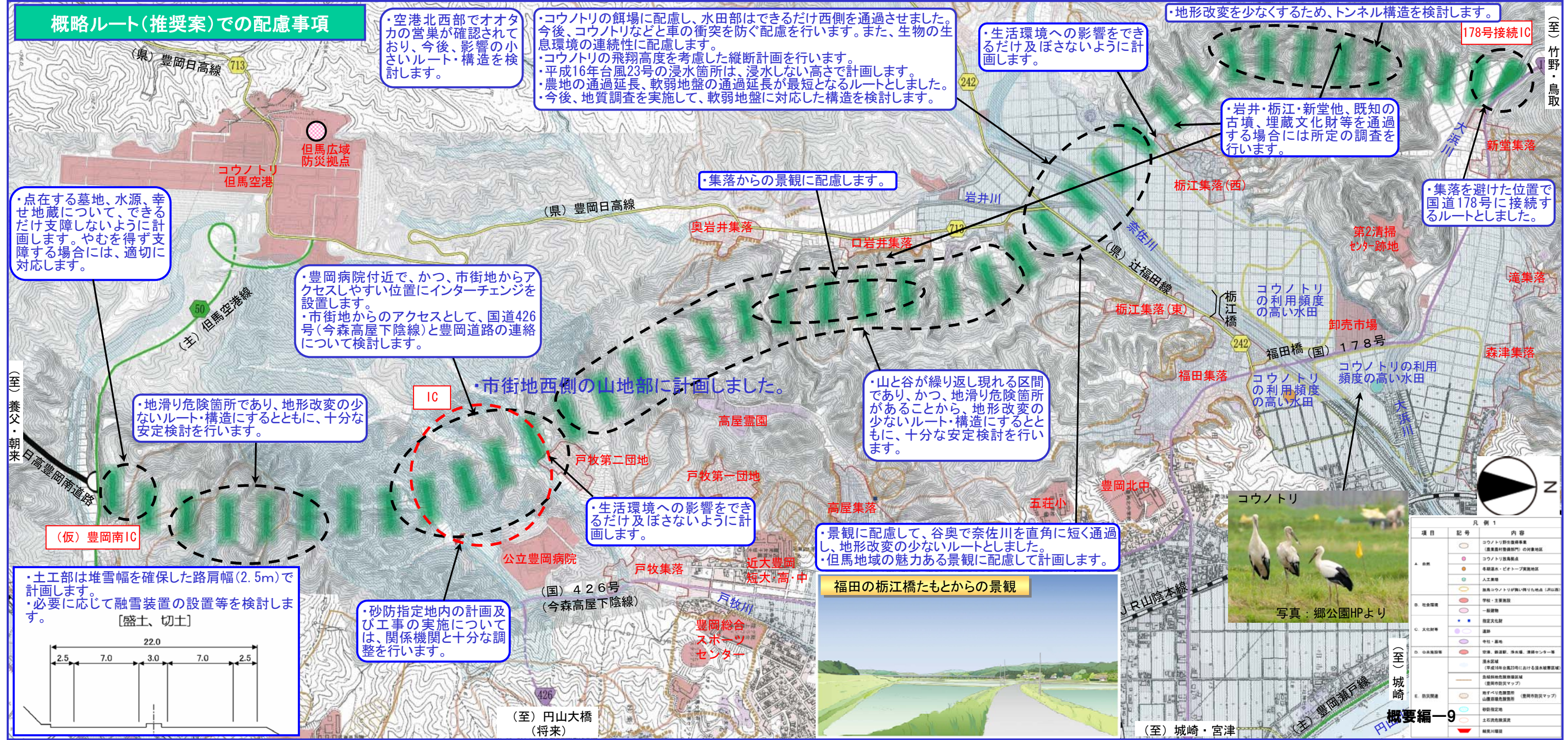
<冬季交通の確保>

○冬季の快適な交通サービスを支えられる様に、積雪時の交通確保に配慮した計画とする
○融雪対策を行う際には、環境への負荷軽減に配慮する

<市街地の改変など>

○地域の社会活動及び生活環境への影響に配慮し、公共施設や住宅等を可能な限り避けたルート・構造とする
○優良農地の通過延長をできるだけ短くするルートとする
○地域の墓地や文化財等に配慮した計画とする

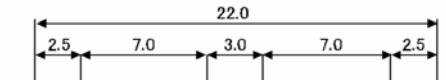
概略ルート(推奨案)での配慮事項



・点在する墓地、水源、幸せ地蔵について、できるだけ支障しないように計画します。やむを得ず支障する場合には、適切に対応します。

・地滑り危険箇所であり、地形改変の少ないルート・構造にするとともに、十分な安定検討を行います。

・土工部は堆雪幅を確保した路肩幅(2.5m)で計画します。
・必要に応じて融雪装置の設置等を検討します。
[盛土、切土]



・豊岡病院付近で、かつ、市街地からアクセスしやすい位置にインターチェンジを設置します。
・市街地からのアクセスとして、国道426号(今森高屋下陰線)と豊岡道路の連絡について検討します。

・砂防指定地内の計画及び工事の実施については、関係機関と十分な調整を行います。

・コウノトリの餌場に配慮し、水田部はできるだけ西側を通過させました。今後、コウノトリなどと車の衝突を防ぐ配慮を行います。また、生物の生息環境の連続性に配慮します。
・コウノトリの飛翔高度を考慮した縦断計画を行います。
・平成16年台風23号の浸水箇所は、浸水しない高さで計画します。
・農地の通過延長、軟弱地盤の通過延長が最短となるルートとしました。
・今後、地質調査を実施して、軟弱地盤に対応した構造を検討します。

・集落からの景観に配慮します。

・生活環境への影響をできるだけ及ぼさないように計画します。

・山と谷が繰り返し現れる区間であり、かつ、地滑り危険箇所があることから、地形改変の少ないルート・構造にするとともに、十分な安定検討を行います。

・景観に配慮して、谷奥で奈佐川を直角に短く通過し、地形改変の少ないルートとしました。
・但馬地域の魅力ある景観に配慮して計画します。



・生活環境への影響をできるだけ及ぼさないように計画します。

・地形改変を少なくするため、トンネル構造を検討します。

・岩井・柘江・新堂他、既知の古墳、埋蔵文化財等を通過する場合には所定の調査を行います。

・集落を避けた位置で国道178号に接続するルートとしました。

凡例 1

項目	記号	内容
A 自然	○	コウノトリ野鳥保護事業(農業農村整備部門)の対象地区
	●	コウノトリ野鳥保護事業(農業農村整備部門)の対象地区
B 社会関係	○	各種運水・ビオトープ実施地区
	○	人工湖
C 文化財	○	高規格コウノトリが営巣する水田(山田)
	○	学校・主要施設
D 公共施設	○	一級河川
	○	指定文化財
E 防災関係	○	河川・運河
	○	防災関係施設(避難所・避難センター等)
F 交通関係	○	国土交通省指定区域(国指定河川)
	○	国土交通省指定区域(国指定河川)
G 環境関係	○	砂防指定地
	○	土砂災害危険箇所
H 河川関係	○	河川
	○	河川

(至) 竹野・鳥取

(至) 養父・朝来



(至) 城崎